

第9期(2014年3月)第2四半期決算説明会

2013年11月21日

.決算のポイント、主なトピックス	3 ~ 4
.マーケットの動向	6 ~ 9
.第9期(2014年3月)第2四半期決算概要	11 ~ 14
.経営概況	16 ~ 18

. 決算のポイント、主なトピックス

1. 決算のポイント

- ・2014年3月期上期は、マーケットの伸びを上回る大幅な増収増益となった。
 - (1) 売上高は前年同期対比27.0%の増収となった。
 - ・全杭種とも、前年同期対比増収となった。
 - ・当社のコンクリートパイルの完工シェアは前年同期対比1.1ポイントアップした。
 - (2) 売上総利益率が前年同期比0.3ポイント改善した。
 - ・製造部門の生産効率がさらに向上した。

前年同期を大幅に上回る増収・増益となった。

2. 主なトピックス(今年度)

2013年7月 業績予想を上方修正するとともに中間配当(5円)の実施予定を発表。

2013年10月 ジャパンパイル基礎株式会社を基礎工業株式会社に吸収合併し、
商号ジャパンパイル基礎工業株式会社とした。

・ジャパンパイルグループの施工能力の向上を図る。

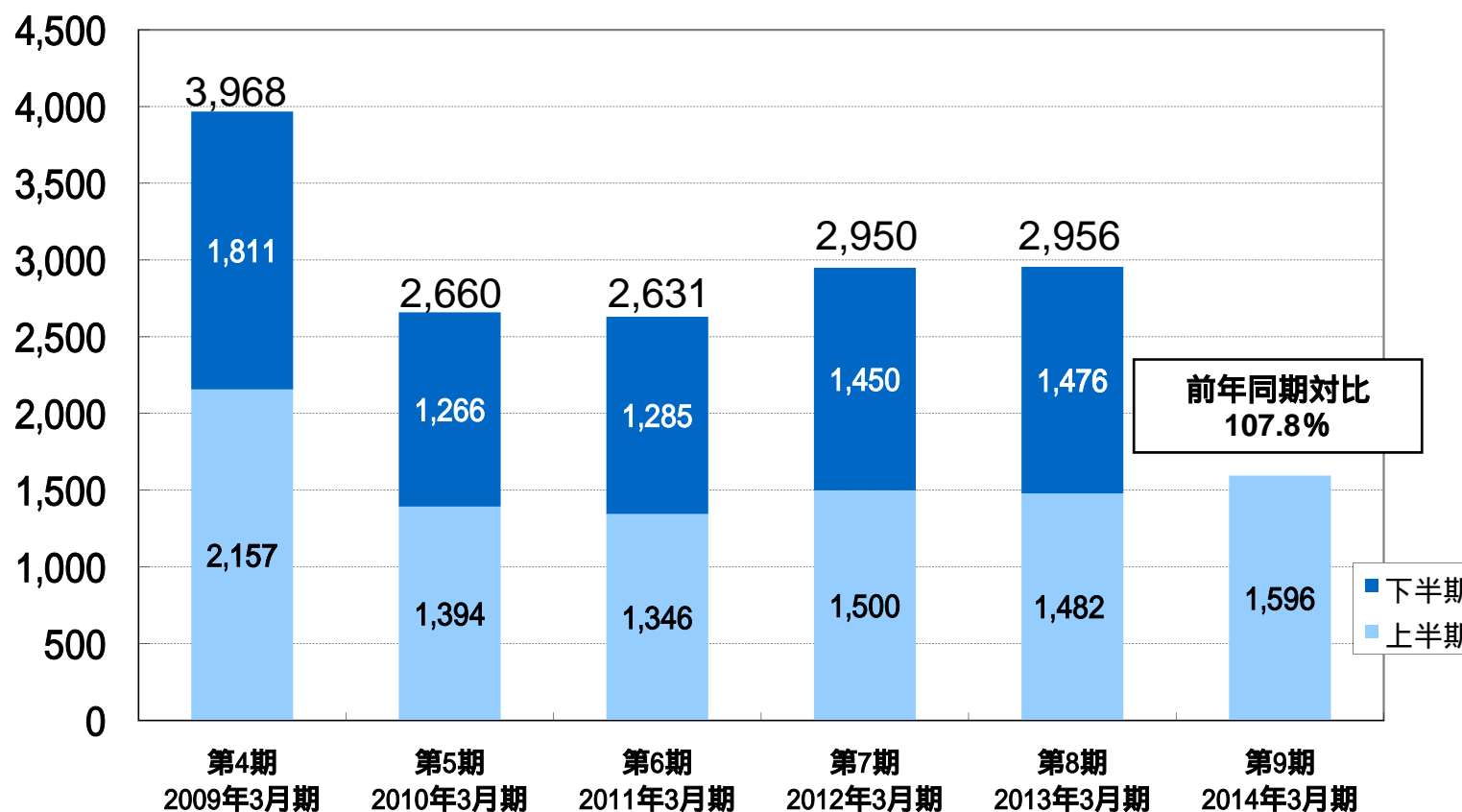
2013年10月 Phan Vu社(ベトナム)に2.7億円の追加出資を行った。

. マーケットの動向

3. 全国コンクリートパイロ出荷量

コンクリートポール・パイロ協会資料

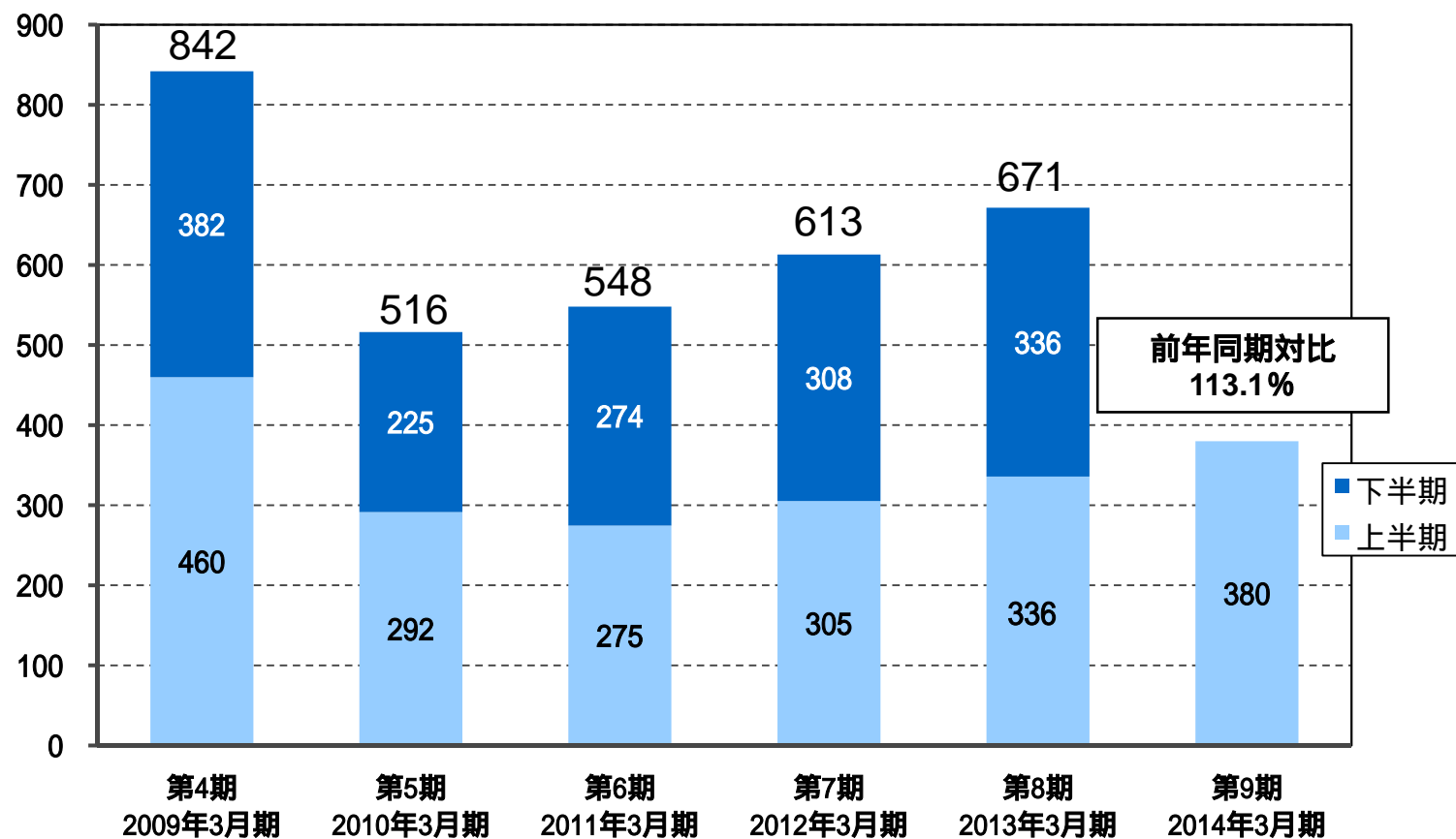
(単位:千トン)



全国の出荷量は、前年同期対比7.8%増加した。

4. 当社のコンクリートパイプ完工量

(単位:千トン)



当社の完工量は前年同期対比13.1%増加した。

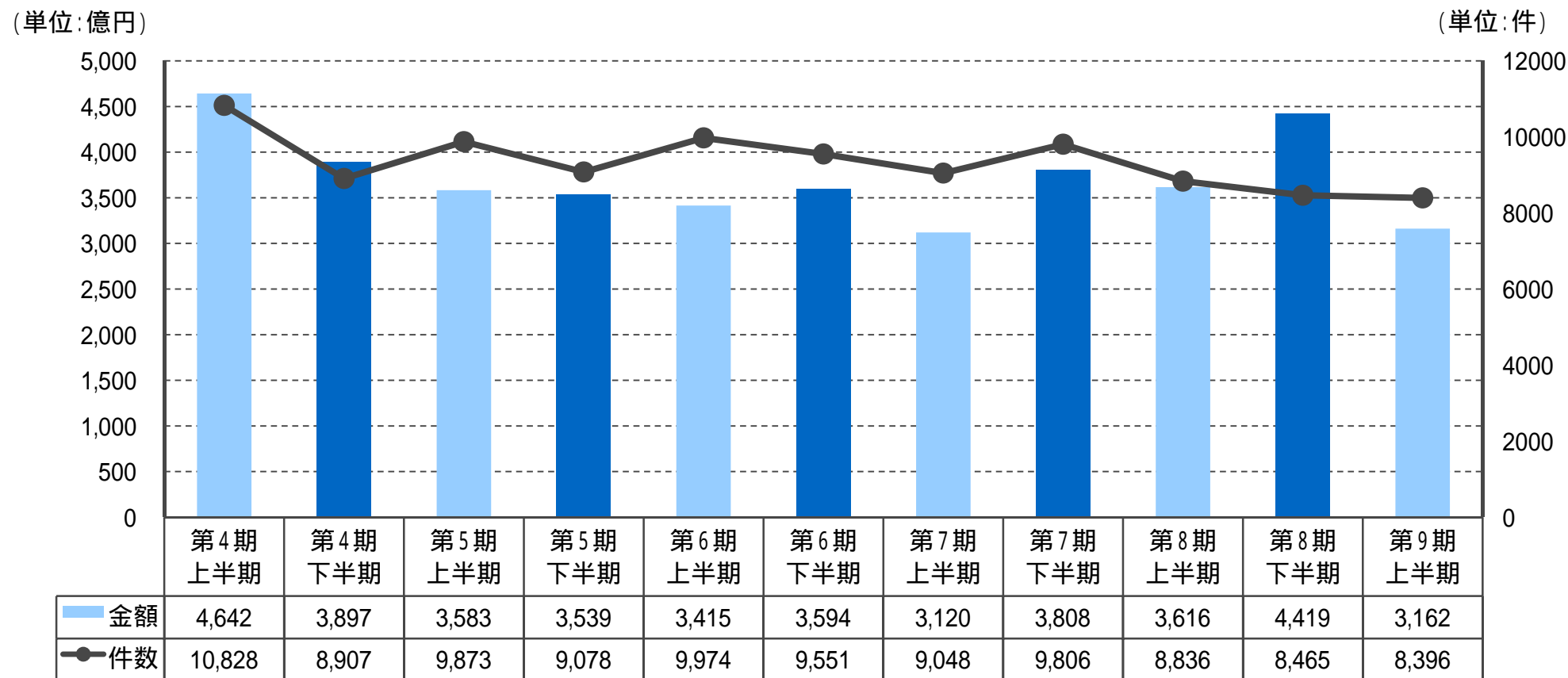
5. コンクリートパイルのシェア

コンクリートポール・パイル協会資料

		第4期 上期	第4期 下期	第5期 上期	第5期 下期	第6期 上期	第6期 下期	第7期 上期	第7期 下期	第8期 上期	第8期 下期	第9期 上期
ジャパンパイル	出荷量(千t)	440	339	237	202	251	247	272	275	313	326	378
	シェア	20.4%	18.7%	17.0%	15.9%	18.7%	19.2%	18.1%	18.9%	21.2%	22.1%	23.7%
	完工量(千t)	486	382	292	225	275	274	305	308	336	336	380
	シェア	22.6%	21.1%	20.9%	17.8%	20.4%	21.3%	20.3%	21.2%	22.7%	22.7%	23.8%
三谷セキサン	出荷量(千t)	433	347	282	309	293	290	390	358	344	343	376
	シェア	20.1%	19.1%	20.2%	24.4%	21.8%	22.5%	26.0%	24.7%	23.2%	23.5%	23.6%
日本コンクリート工業	出荷量(千t)	223	226	147	121	135	96	139	137	135	135	117
	シェア	10.4%	12.5%	10.5%	9.6%	10.0%	7.5%	9.3%	9.5%	9.1%	9.2%	7.4%
日本ヒューム	出荷量(千t)	204	148	138	83	105	107	131	120	101	122	135
	シェア	9.4%	8.2%	9.9%	6.6%	7.8%	8.3%	8.7%	8.2%	6.8%	8.2%	8.5%
トーヨーアサノ	出荷量(千t)	108	103	73	75	82	84	95	106	95	81	97
	シェア	5.0%	5.7%	5.2%	6.0%	6.1%	6.5%	6.3%	7.3%	6.4%	5.5%	6.1%
上位5社計	出荷量(千t)	1,407	1,164	877	791	867	824	1,027	995	988	1,008	1,103
	シェア	65.2%	64.2%	62.9%	62.5%	64.4%	64.1%	68.5%	68.6%	66.8%	68.3%	69.1%
総出荷量	出荷量(千t)	2,156	1,811	1,394	1,266	1,346	1,285	1,500	1,450	1,480	1,476	1,596

当社のシェアが業界トップとなった。

6. 杭基礎工事に関する当社への引き合い



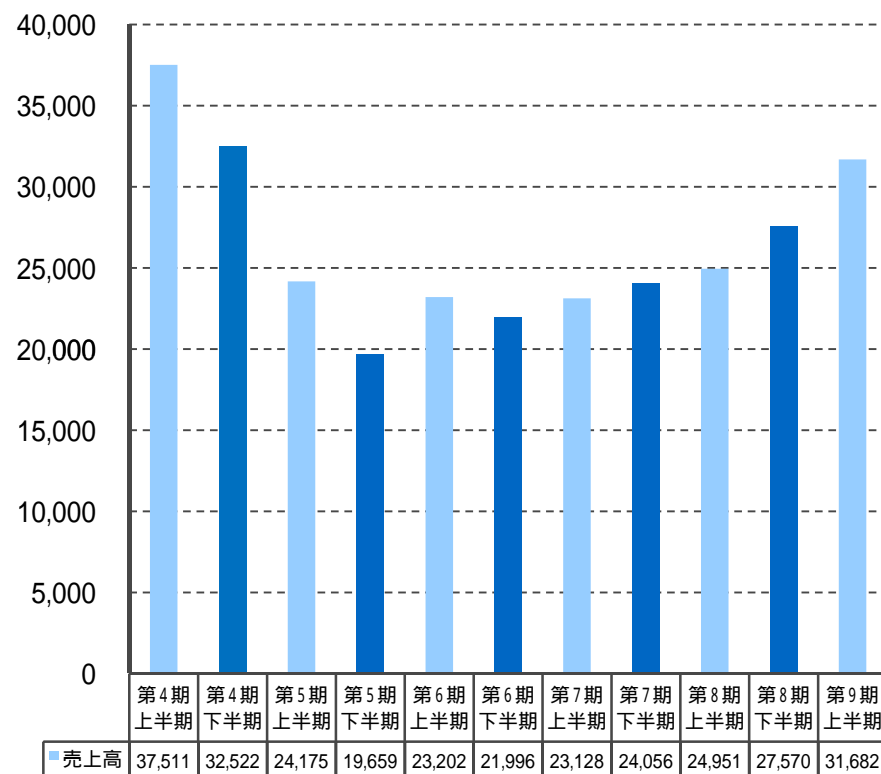
ゼネコンの受注案件絞り込みによる減少。

. 第9期(2014年3月) 第2四半期決算概要(連結)

7. 連結売上高・営業利益の推移

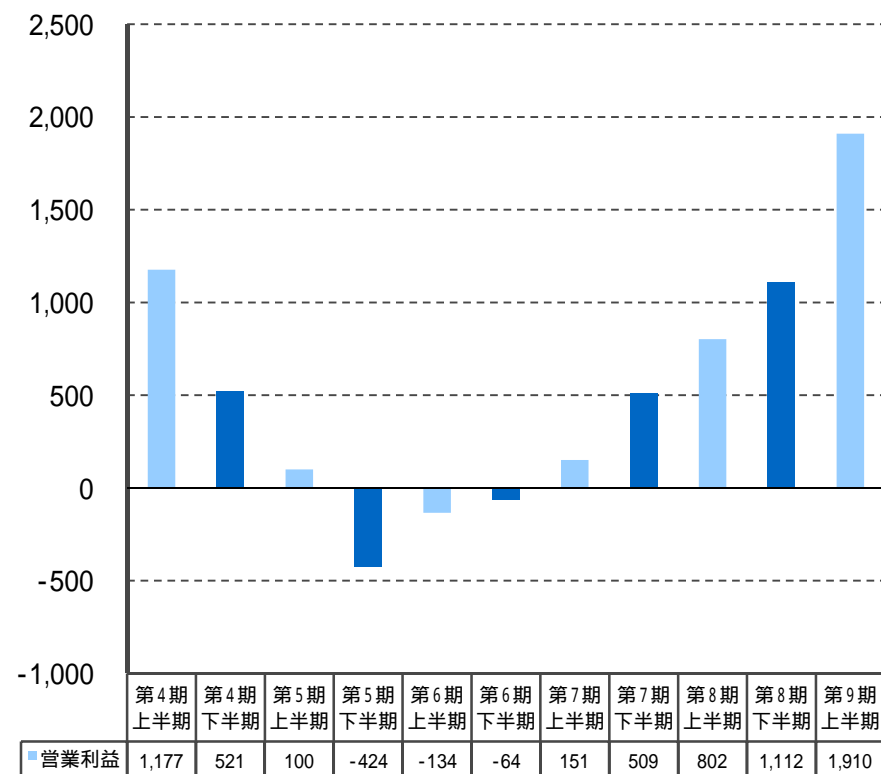
売上高

(単位:百万円)



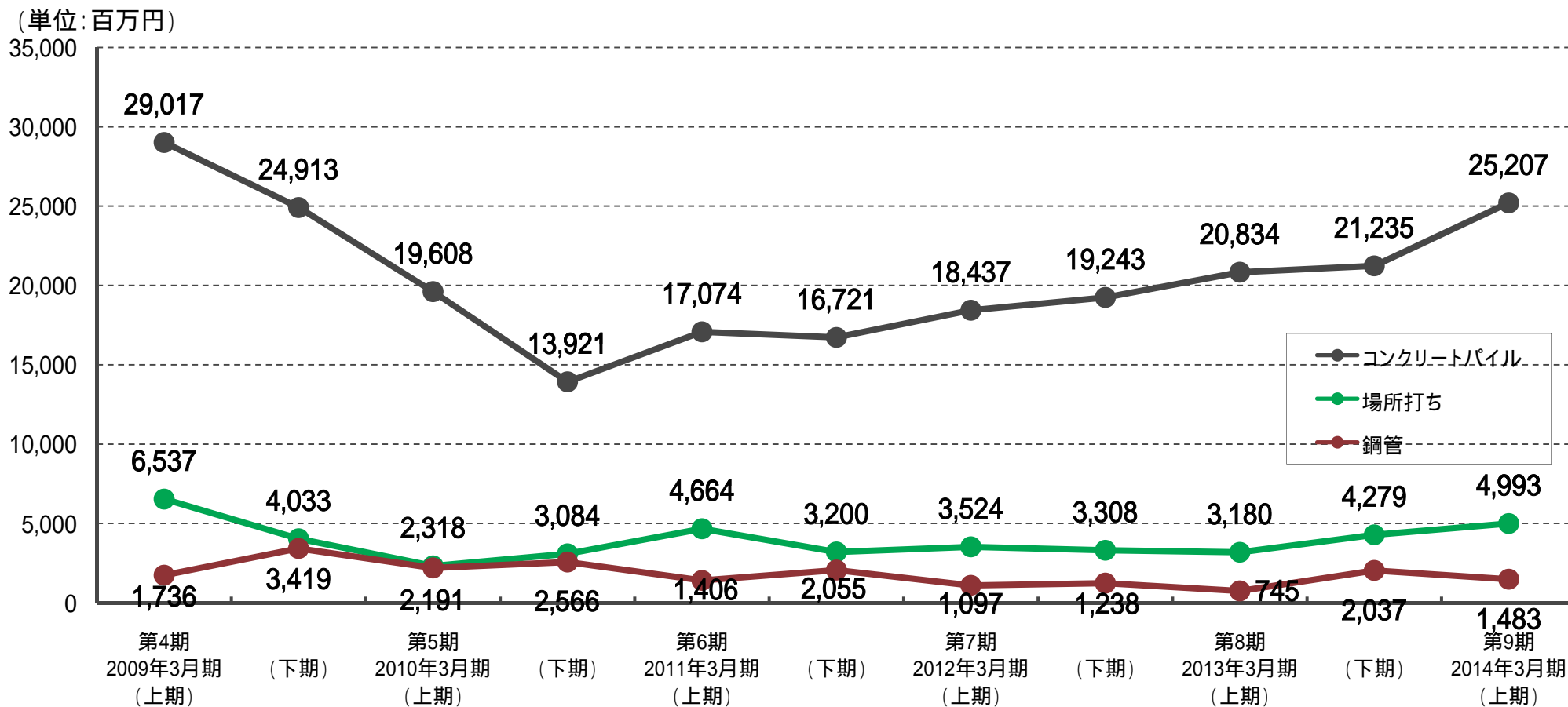
営業利益

(単位:百万円)



売上高は前年同期対比127.0%、営業利益は上期としては過去最高益。

8. 事業別 売上高の推移



主力のコンクリートパイルが前年同期対比21%増加した。

9. 比較連結損益計算書

(単位:百万円)

	第6期 2011年3月期	第7期 2012年3月期	第8期(上半期) 2013年3月期	第8期 2013年3月期	第9期(上半期) 2014年3月期
売上高	45,198	47,184	24,951	52,521	31,682
売上原価	39,598	40,269	20,952	44,422	26,509
売上総利益	5,599	6,914	3,998	8,099	5,173
(売上総利益率)	(12.4%)	(14.7%)	(16.0%)	(15.4%)	(16.3%)
販売費及び一般管理費	5,798	6,253	3,195	6,185	3,262
営業利益	198	660	802	1,914	1,910
営業外収益	474	528	255	503	226
営業外費用	229	225	121	251	114
経常利益	45	963	936	2,167	2,023
特別利益	155	12	26	119	9
特別損失	2,439	169	176	87	30
税金等調整前純利益	2,238	806	787	2,198	2,002
法人税等合計	51	542	97	163	742
少数株主利益	14	38	9	24	13
当期純利益	2,201	1,309	679	2,011	1,247

10. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第6期(通期) 2011年3月期	第7期(通期) 2012年3月期	第8期(上期) 2013年3月期	第8期(通期) 2013年3月期	第9期(上期) 2014年3月期
税金等調整前当期純利益	2,238	806	787	2,198	2,002
減価償却費	1,334	947	429	898	476
売上債権の増減 (は増加額)	2,190	1,014	985	2,106	1,260
たな卸資産の増減 (は増加額)	822	290	521	1,471	957
仕入債務等の増減 (は減少額)	3,097	103	1,050	3,533	2,497
その他	1,378	486	127	89	94
営業活動によるキャッシュ・フロー	558	1,618	888	2,963	2,853
有形固定資産の増減	246	67	42	131	330
投資有価証券の取得	150	480	1	625	1
その他	169	32	102	44	118
投資活動によるキャッシュ・フロー	565	579	146	712	213
借入金・社債の増減	315	120	75	2,280	955
配当金の支払	208	127	208	208	290
株式発行による収入	-	-	-	1,096	-
その他	397	355	185	462	190
財務活動によるキャッシュ・フロー	921	602	468	1,854	1,435
現金及び現金同等物の期末残高	5,630	6,067	6,340	6,463	7,668

営業キャッシュ・フローは2,853百万円のプラス。

. 経営概況

1 1-1 . 経営概況1

1 . 最近の経済状況をどう見るか

- (1) 悪くなる傾向は見いだせない
- (2) 日本企業の新たな展開

2 . 基礎業界の現況

- (1) 緩やかな回復傾向
- (2) 今後の不安

1 1 -2 . 経営概況2

3 . 当社の現状

- (1) 受注の推移・・・昨年夏からの急成長
- (2) 受注増加の中身・・・スーパーゼネコンの大型工事

4 . 当社急成長の理由

- (1) 総合基礎建設業というビジネスモデル
- (2) 人材の成長
- (3) 工事管理重視の流れの乗る

11-3. 経営概況3

5. 今後の展望

- (1) 建設需要は堅調
- (2) ブランドイメージの更なる浸透
- (3) 物理的制約への対応

生産面

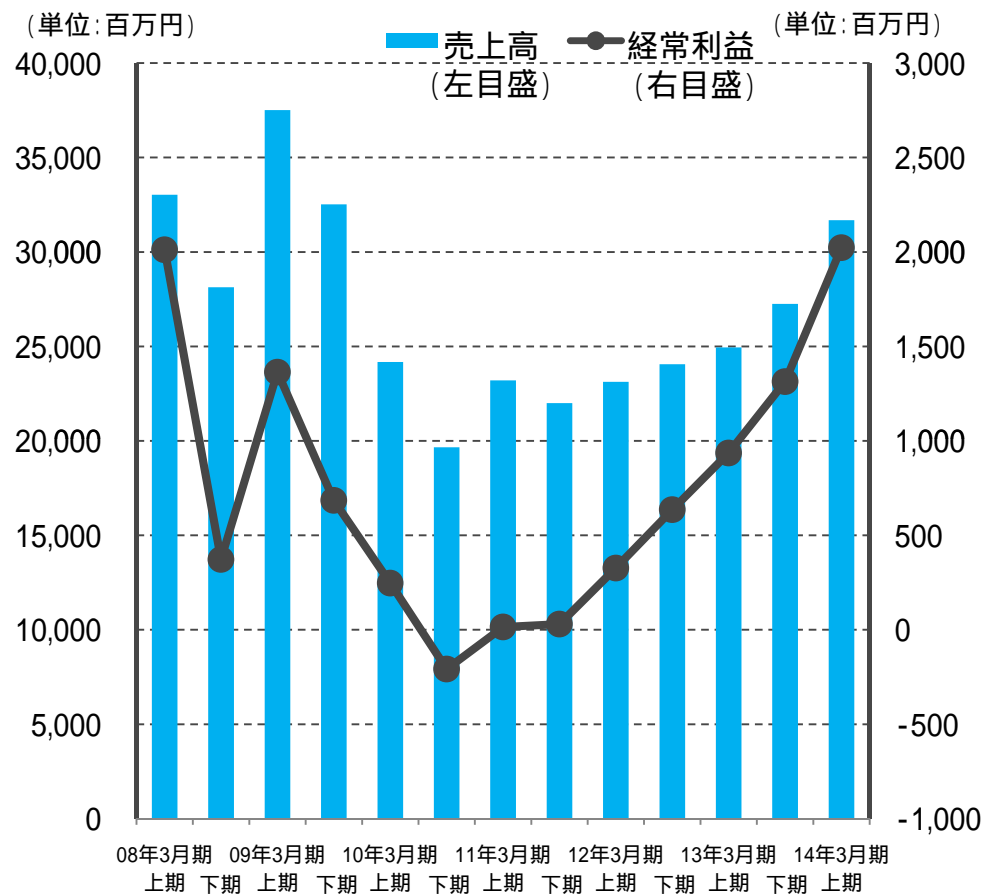
工事面

6. 今期の見通し

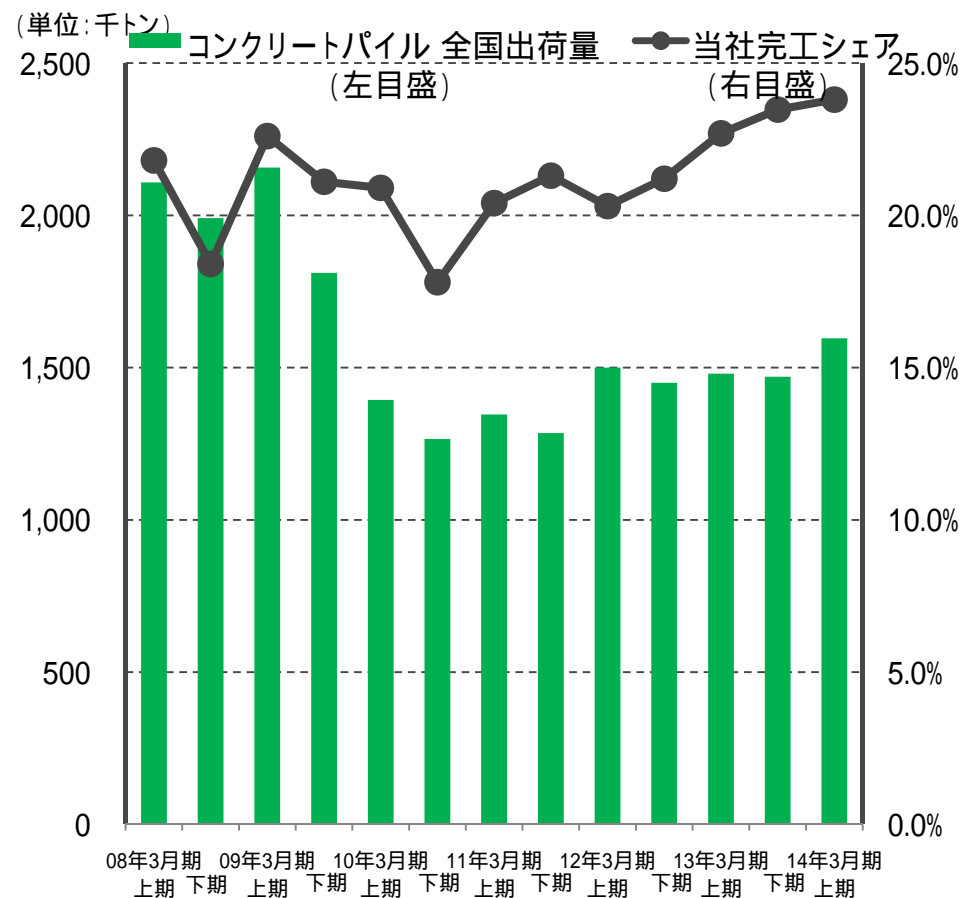
7. 海外事業の現状

統合からの業績の推移

売上高と経常利益

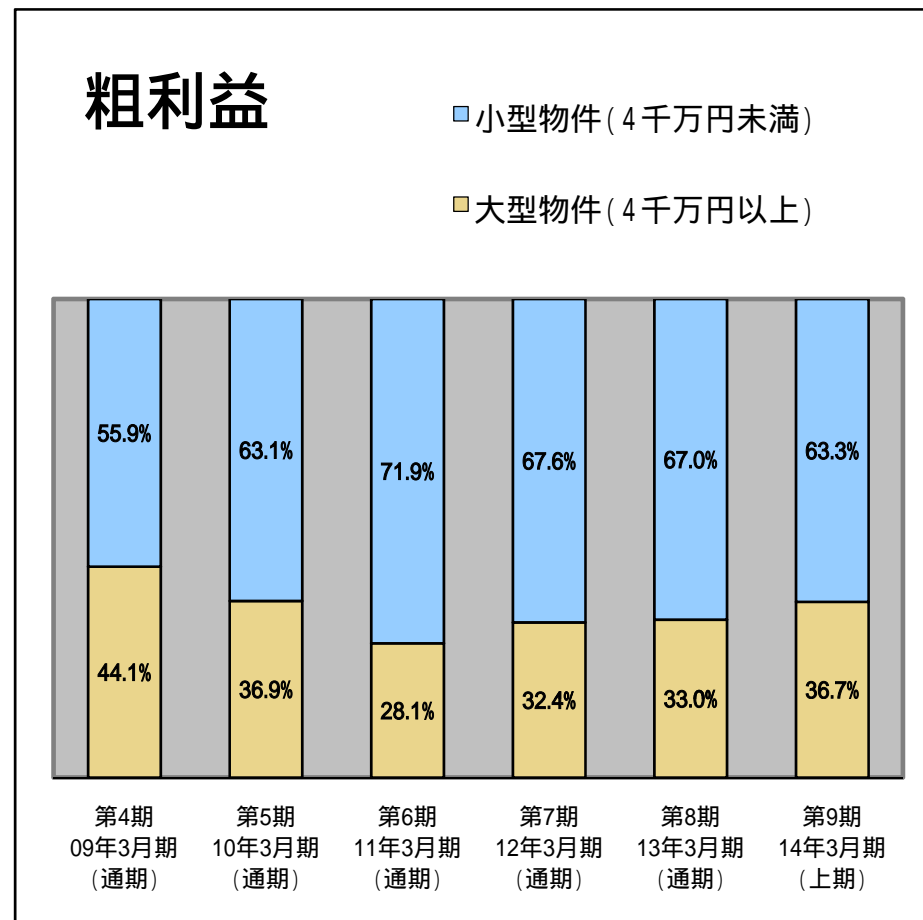
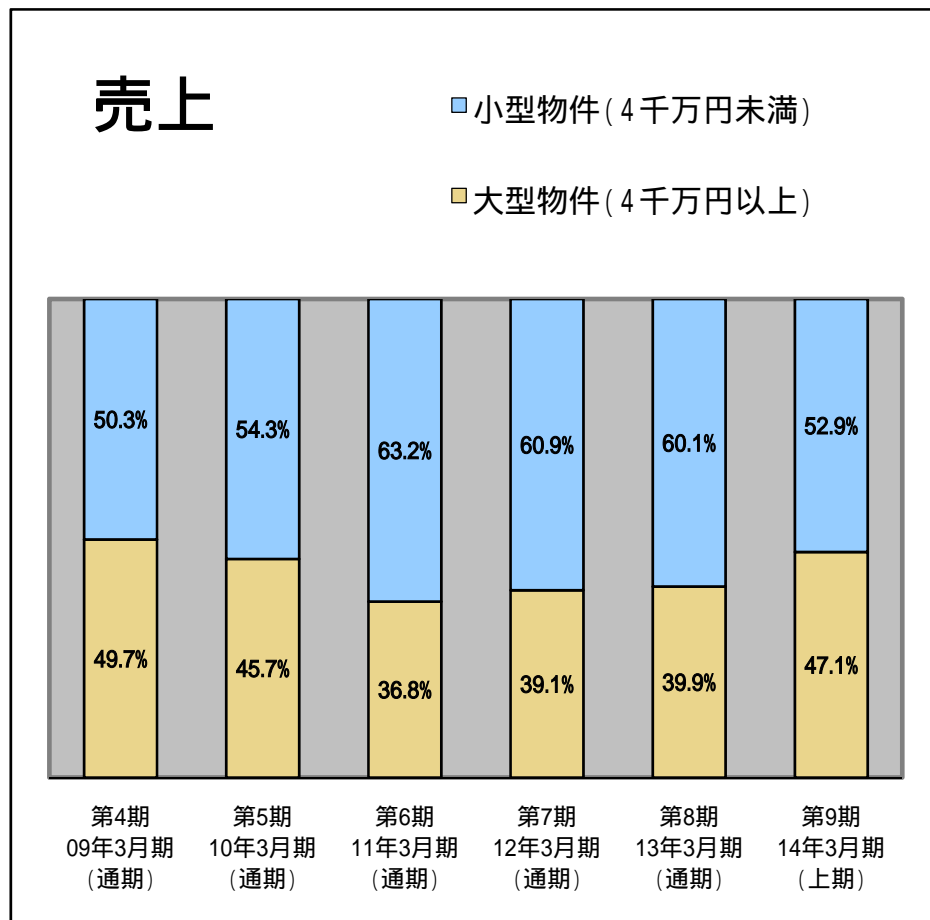


市場の変化と当社完工シェア



売上高・経常利益・シェアともに順調に推移している。

売上高別の売上・粗利益の比率



大型物件の比率が増加。